

2011

11

November
vol.161

内田光子
© Richard Avedon

FOCUS

11.1 内田光子 ピアノ・リサイタル

内田光子のソロ・リサイタルが遂に水戸芸術館で実現!!

text: 中村 晃

現代最高のピアニストのひとりとして、世界中から尊敬と賞賛を集めている内田光子のソロ・リサイタルが、遂に水戸芸術館で実現します。世界中のあらゆるコンサート会場で、客席を満席にしてしまう名演奏家というのは、当然ながらいつの時代でもごくわずかしかな存在しません。内田光子は、小澤征爾（水戸室内管弦楽団音楽顧問）と並び、その高みに上り詰めた日本人演奏家です。

世界への跳躍

内田光子は、幼年時代には、桐朋学園附属「子供のための音楽教室」に通っていました。余談ですが、「子供のための音楽教室」は、小澤征爾、中村紘子、堤剛、そして潮田益子や芸芸晶子などの水戸室内管弦楽団メンバーなどを輩出した、奇蹟のような戦後の音楽教育の場で、吉田秀和（水戸芸術館館長）も創立者の一人でした。内田はその後、外交官であった父の赴任先であるウィーンに12歳の時に渡り、ウィーン音楽大学のハウザー教授に師事しています。1966年ミュンヘン国際コンクール第2位。69年ウィーン・ベートーヴェン国際コンクール第1位。そして、70年にショパン国際ピアノ・コンクールで第2位を受賞。72年に活動の本拠をウィーンからロンドンに移します。そして、82年からのロンドンのウィグモア・ホールで「モーツァルト／ピアノ・ソナタ連続演奏会」、84年にイギリス室内管弦楽団を自ら指揮しつつ演奏した「モーツァルト／ピアノ協奏曲シリ

ズ」を行い、録音も手がけました。これら一連のモーツァルト全曲プロジェクトはたいへんな成功を収め、内田光子は、一躍、世界中の衆目を集めるピアニストとなりました。以来、ベルリン・フィルをはじめとする世界のあらゆる一流オーケストラと共演を重ね、ザルツブルク音楽祭やタンゲルウッド音楽祭などの国際音楽祭の常連になっていきます。今春には、第53回グラミー賞・最優秀インストゥルメンタル・ソリスト演奏賞を受賞するというニュースが、巷を沸かせましたね。

プログラム／内田光子が愛する作品たち

内田光子は、全身全霊をかけて作品の中に入り込み、徹底的な作品研究を背景に、他の誰も為し得ることのなかった新しい音楽の地平を、緻密な表現を通して実現させます。内田が選んだ今回のプログラムは、シューマンの〈ダヴィッド同盟舞曲集〉とシューベルトの〈ピアノ・ソナタ イ長調 D959〉。そして、ちらし等ではご紹介できませんでしたが、演奏会の冒頭にモーツァルトの〈幻想曲 二短調 K.397 (385g)〉が追加されることになりました!

内田光子が世界に羽ばたく契機となったモーツァルト演奏が、水戸で聴けることになりました!! 〈幻想曲 二短調〉は、憂いを秘めた中間部の旋律と、明るく開放的な情趣をもつ終結部の対比が美しい、可憐な小品です。

〈ダヴィッド同盟舞曲集〉は、シュー

マンがクララとの結婚を目前にして書いた、クララへの愛情で彩られた作品です。内田はこの作品について、「猛烈な傑作だと思います。」と評するにとどまらず、「シューマンの中で、お墓にもっていききたい曲を1曲選べと言われたら、私は〈ダヴィッド同盟舞曲集〉を選ぶでしょう。(CD「内田光子／シューマン：ダヴィッド同盟舞曲集、幻想曲」[UCCD-9797/8]ブックレットより)」とこの曲への深い愛情を語っています。

一方、シューベルトに対して内田は、「私に深い感動を常に与え続け、私の心に語りかけてきたのは、いつも必ずシューベルトでした。(CD「内田光子／シューベルト：ピアノ・ソナタ第7番、3つの小品」[PHCP-11046]ブックレットより)」と語っています。今回は、シューベルトの死の2カ月前に作曲された3曲のピアノ・ソナタの中でも、もっとも流麗で光溢れるイ長調のソナタが演奏されます。

私たちの生きる時代に望み得る、最高峰のピアノ演奏を、どうぞ水戸芸術館でお楽しみください。チケットは残り僅かです。お急ぎください!!

内田光子 ピアノ・リサイタル

11/1 (火) 19:00 開演 (18:30 開場)

会場 水戸芸術館 コンサートホール ATM
全席指定 A席 ¥13,000 B席 ¥11,000曲目 モーツァルト: 幻想曲 二短調 K.397 (385g)
シューマン: ダヴィッド同盟舞曲集 作品6
シューベルト: ピアノ・ソナタ イ長調 D959

11.23.水・祝 at 14:00 水戸うらら女声合唱団 ～35周年記念演奏会～

東日本大震災により3月27日に予定されていた演奏会は延期となり、芸術館をはじめ関係の方々のお力添えにより11月23日に開催の運びとなりました。心より感謝申し上げます。

1976年、水戸市文化福祉会館に中澤敏子先生のもと「水戸うらら女声合唱団」が誕生しました。指揮者のライフワークである“美しい日本語を大切に、そして詩心を訴える歌唱法”を研究しながらの合唱づくりが始まりました。5年目に高田三郎〈雛の季節〉で「全日本おかあさんコーラス全国大会」に初出場、生きることへの問いかけをひたすらに希み求めてゆく高田音楽に魅せられました。やがて札幌で行われた全国大会には、池辺晋一郎作曲の筑波に残された古歌〈万葉ひたちの歌〉を歌いました。

今回第1ステージは思い出の曲を集めました。高田三郎〈心の四季〉から“風が”、池辺晋一郎〈六つの子守歌〉から“いつもの子守歌”に続いて演奏する中田喜直〈美しい訣れの朝〉から“おかあさん”は、一昨年「おかあさん全国大会」で「ひまわり賞」をいただいた曲で、指揮者生活60年の中澤先生の恩師・木下保先生直伝の「美しいことば」「かたりの世界」を心を込めて歌います。三善晃〈光のとおりみち〉から“雪の窓辺に”では、優しさ溢れるメロディーと美しいピアノの流れをお聴きください。第2ステージは姉妹合唱団の「みと葵女声合唱団」との共演により信時潔〈女人和歌連曲〉を演奏いたします。紫式部など女流王朝歌人による和歌をとりあげます。第3ステージは辻弘子指揮により吉田覚編曲〈五

つのイギリスの歌〉から3曲を楽しく歌います。第4ステージは今や世界的に御活躍の寺嶋陸也先生をお迎えして、私達にとっては難しい現代曲〈花三題〉と〈朝顔の苗〉を演奏いたします。清純な美しい旋律を寺嶋先生の慈しみあふれるピアノのひびきと共にお楽しみください。

この度の未曾有の震災により被災された方々に心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧を願い、祈りを込めて歌いたいと思います。

団長 嶋原みよ子



11.27.日 at 15:00 小川瞳 ピアノ・リサイタル



水戸芸術館でリサイタルという夢のような機会を頂けたこと、お世話になったすべての方々に、心より感謝申し上げます。また東日本大震災により、多くの方が今もさまざまな想いを抱きつつ、日々の生活に励んでいることと思います。被災された方々、ご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

この大きな災害によって、いかなるものであっても、時代を越えて受け

継がれてゆくことは非常に困難であることを改めて痛感しました。だからこそ、遠い昔から世界中のいくつもの危機を乗り越え愛され続けて、今ここに存在している芸術作品の数々には奇跡さえ感じます。

そんな、普遍的価値を持つ芸術作品の中から今回はまず、古典派音楽が栄えた18世紀の作品、モーツァルト特有の美しい旋律を持つ幻想曲を演奏します。次に、大きく時代が変わって近代音楽と呼ばれる20世紀の作品、バルトークのリズミカルな組曲を、そしてロマン派音楽全盛の19世紀に移って、リスト。バルトークと同じハンガリーの作曲家であり、今年生誕200年を迎えるリストの作品の中から、華やかにしてドラマティックな曲を演奏します。

後半は、リストの前年生まれ――

昨年生誕200年であったショパンへと。バラード2番は、私が中学1年の時から演奏する機会を何度か得て(芸術館の園田高弘先生の公開セミナーを受講したのもこの曲でした)、思い入れの深い曲です。そして最後は、ショパン円熟期に作曲され、ロマン派の最高峰といわれるソナタ第3番で締めくくりたいと思います。私がかねがね、奥深い世界を追求していくために、今できること・今しかできないことに精一杯取り組んで、それを未来につなげられたらと考えています。

今回のリサイタル、今の私にできる最高を目指したいと思いますので、ご都合がつく方はぜひご来場いただくと大変嬉しく思います。どうぞよろしくお願いいたします。

小川瞳

2011.8.21

古謝美佐子&城南海
～琉球、奄美からの風～

沖縄出身の古謝美佐子さんと奄美出身の城南海さんによるコンサート。城南海さんのソロ、古謝美佐子さんのソロ（キーボード/ギター：佐原一哉さん、琉球舞踊：知花さゆりさん）、古謝さんと城さんの合同ステージという3部構成で、沖縄と奄美の民謡やそれぞれのオリジナル曲などが披露された。古謝美佐子さんは、喜びや悲しみなどあらゆる感情を包み込み、魂を揺り動かす深い歌声を聴かせてくれた。その人柄も魅力的で、分け隔てなく人を愛する優しさをもつ太陽のような存在だと思った。一方の城南海さんの瑞々しく伸びやかな歌声は、まさに天賦の才であると思われた。そして、その若さにもかかわらず、陰影を帯びた表現が魅力的で、古謝さんが太陽であるならば、城さんは月にも例えられるだろう。アンコール曲は、〈花～全ての人の心に花を～〉(作詞・作曲：喜納昌吉)。《中村》

アンケートから ■古謝さんの〈黒い雨〉に込められた沖縄の現状とそれに対する思いや、城さんの〈ずっとずっと〉や〈兆し〉にとっても感動して、涙が出ました！（水戸市：N.N.さん） ■古謝さん、圧倒される歌声、スバラシイ人格、「哲学」を持つ歌い手（無記名の方） ■踊りがとても良かった。照明機材にLEDが幾つか使われていたことに感激した。これは水戸芸術館の役割を果たしていると考えます。（無記名の方）

2011.8.27

避難訓練コンサート

3月11日と同規模の地震を想定し、コンサート中に避難訓練を行うという水戸芸術館初の試み。演奏中に突然地鳴りのような効果音が響くと、やがてホールは停電。432人のお客様と17人の演奏家が職員の誘導で芸術館広場まで避難しました。避難は地震発生から7分弱で完了。芸術館では今回の結果を踏まえ、防災計画のさらなる改良をします。今回の演奏は、萩原健氏（クラリネット）と森田泰明氏（トロンボーン）を中心とした木管と金管、2組のアンサンブルでお送りしました。さらにコンサートとともに、広瀬

弘忠氏による防災講演や水戸市役所による展示も開催。終演後には非常食のプレゼントも。《篠田》

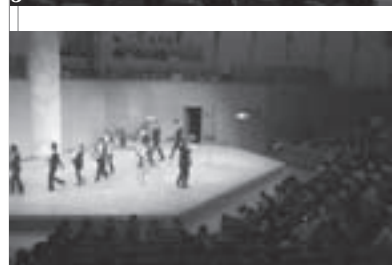
アンケートから ■地震のときの音と照明の消え方がリアルで怖かったです、本当に地震が来たときのためにになりました。演奏も最高でした。（無記名の方） ■災害時の人の心理等の講演がとても勉強になりました。出口への誘導が「どこへ」を明確に指示して下さると、実際の災害時、より落ち着いて行動できるように感じました。（ひたちなか市：Y.K.さん） ■音楽もさることながら避難訓練もできる企画が面白いと思いました。今まで他人事のように事故や事件を見てきましたが、自分も3月11日を体験して日頃の心がけが大切と思いました。（水戸市：K.N.さん）

2011.8.28

「音楽×こども×アート」プロジェクト
ワークショップ

夏休みの最後の日、小学生を対象に、音楽と絵によるワークショップを開催。ピアノ演奏は中川賢一さんと小坂圭太さん。演出家・脚本家の宇井孝司さんによる進行のもと、1日で約60名が参加しました。最初は、「絵から音楽を即興する」コーナー。中川さんが、壁に映写されたアート作品やムンクの〈叫び〉をみて、エキサイティングな即興演奏を披露。その後いよいよ、ストラヴィンスキーの〈春の祭典〉をきいて、好きな箇所のイメージを絵で表すコーナー。目の前のピアニストたちの渾身のパフォーマンスに触発され、子どもたちからはむくむくと多彩な絵が生まれました！これらの絵は、10月1日の演奏会で、アニメーションになって上映されます。《高巢》

アンケートから ■楽しかったです。むしろ、わくわくしすぎてうれしかったです。（水戸市：A.K.ちゃん） ■いろいろな曲のおもしろさをみんなでえがいて、個性ある作品をたくさん見れて楽しかった。（水戸市：S.Y.ちゃん） ■素敵なピアノ演奏を聴きながらイメージネーションを働かせて、絵を描く楽しさを親子共々感じることができました。（水戸市：M.K.さん） 「自由に」「表現する」ことに慣れていない日本の子供達には、学校でもこういう授業がもっとあればと思います。（水戸市：A.I.さん）



1-2：古謝美佐子&城南海
～琉球、奄美からの風～
3-4：避難訓練コンサート
5-6：「音楽×こども×アート」
プロジェクト ワークショップ

チケットに関するお問い合わせ

水戸芸術館チケット予約センター：029-231-8000
営業時間：9:30～18:00（月曜休館）

公演内容や企画に関するお問い合わせ

水戸芸術館音楽部門：029-227-8118

ホームページ <http://arttowermito.or.jp/>

公式ブログ <http://concerthallatm.blog101.fc2.com/>

ATM 便り 毎月1回茨城新聞に不定期登場

Twitter @ConcertHall_ATM

チケット・インフォメーション

《10月29日（土）発売分》

■新ダヴィッド同盟 第2回演奏会

12/17（土）16：00開演

料金 [全席指定] A席 ¥5,000 / B席 ¥4,000

■ニュー・イヤーズ・コンサート 2012

2012年1/5（木）18：00開演

料金 [全席指定] S席 ¥5,000 / A席 ¥4,000 / B席 ¥3,000

※上記2公演には、10/25（火）より運営維持会員、10/26（水）より友の会会員の先行電話予約がありますので、10/29（土）の一般発売の時点で、券種によってはお客様のご希望に添えない場合があります。予めご了承ください。

これからの演奏会・残席情報

○…残席あり（20席以上） △…残席わずか（20席未満） ×…残席なし
中央…中央ブロック 左右…裏…左右ブロックおよびステージ裏 補助…補助席

◎ちょっとお昼にクラシック 鈴木大介

一ソロでデュオでギター三昧ー

…………… 10/22（土）中央×、左右○

◎内田光子 ピアノ・リサイタル

…………… 11/1（火）中央×、左右・裏△

◎水戸うらら女声合唱団

…………… 11/23（水・祝）自由席○

◎小川瞳 ピアノ・リサイタル

…………… 11/27（日）自由席○

◎クリスマス・プレゼント・コンサート 2011

…………… 12/23（金・祝）中央○、左右・裏○

※10/4（火）現在の状況です。

※公演当日に残券がある場合、開演1時間前より水戸芸術館チケットカウンターでお得な学生券を発売いたします。ご購入の際には学生証（記名章）をお持ちください。公開セミナーなど、学生券のない公演もございますので、予めお問い合わせください。

※固定席が売り切れ次第、補助席を販売いたします。

■水戸うらら女声合唱団

11/23（水・祝）14：00開演 料金 [全席自由] ¥1,500

■小川瞳 ピアノ・リサイタル

11/27（日）15：00開演 料金 [全席自由] ¥2,000

ACM 劇場

■立川志の輔独演会

11/3（木・祝）14：30開演

料金 [全席指定] S席 ¥3,500 / A席 ¥3,000 / B席 ¥2,500

■萬狂言水戸公演 2011『寝音曲』『二人袴』

11/20（日）16：00開演

（プレ・パフォーマンス・トークは14：30～15：00）

料金 [全席指定] S席 ¥4,000 / A席 ¥3,000 / B席 ¥2,000

現代美術ギャラリー

■清川あさみ | 美女採集

11/3（木・祝）～2012年1/22（日）9：30～18：00

※入場は17：30まで

[休館日] 月曜日、年末年始 12/26（月）～2012年1/3（火）

※ただし2012年1/9（月・祝）は開館、翌1/10（火）休館

[入場料] 一般 ¥800、団体（20名以上）・前売 ¥600

※中学生以下・65歳以上・障害者手帳をお持ちの方と付添いの方1名は無料

■クリテリオム 82 上村洋一

11/3（木・祝）～2012年1/22（日）9：30～18：00

※入場は17：30まで

※料金は同時開催『清川あさみ | 美女採集』展の入場料に含まれます。

茨城の主な11月の演奏会

■佐川文庫 TEL / 029(309)5020

・酒井さやか ピアノ・リサイタル 11/12（土）18：00開演

■東海文化センター TEL / 029(282)8511

・横山幸雄 ピアノ・リサイタル 11/19（土）17：00開演

■鹿嶋勤労文化会館 TEL / 0299(83)5911

・村治佳織 / リチャード・ヨンジェ・オニール プレミアム・クラシック

11/9（水）18：30開演

■ギター文化館 TEL / 0299(46)2457

・ジョルジュ・ミルト&宮下祥子 コンサート

11/3（木・祝）15：00開演

・福田進一 ギターリサイタル 11/5（土）15：00開演

・アンドレイ・パルフィノヴィッチ ギターリサイタル

11/23（水・祝）15：00開演

水戸芸術館の主な11月のスケジュール

コンサートホールATM

■内田光子 ピアノ・リサイタル

11/1（火）19：00開演

料金 [全席指定] A席 ¥13,000 / B席 ¥11,000

編集後記

学生時代、「青春18きっぷ」を使って水戸から京都まで、鈍行列車で旅したことがあります。往復20時間、乗換すること十数回。なつかしく思いつつも、もっと楽な方法で京都まで出かけた、今日この頃です。（り）

秋風が気持ちいい。そんな中、体がお蕎麦を欲してやまない。そんな蕎麦好きでもないのに何故。。。あ！秋は新そばの季節じゃないか！既に遺伝子レベルで季節の味覚が組み込まれているらしい。さあ、まずは何処の蕎麦を食そう。（gg）

この間まで「暑い」とぼやいていたのに、気が付けば、もう秋。年末年始のコンサートの準備も進んでいます。時のたつ早さに体がついていけなくなると風邪をひくものらしく、私も風邪気味。皆様もお気を付け下さい。（篠）

猛暑は何処へ。10月に入り、急に涼しくなって、ほっとするのも束の間、くしゃみ連発、鼻水だら〜。ブタクサか何かの花粉症だろうか。憂鬱だ。庭の木犀草が咲いたけど、あの甘い香りを心ゆくまで楽しめないなんて。（て）

ライフ いのちをつなぐ物語 という映画をみました。動物たちが過酷な環境でもまっすぐに生きる姿や、このドキュメンタリーを撮影した方々の途方もない情熱には圧倒されます。いい映画をたくさん観たい秋。（樹）

今号では、内田光子さんの公演の紹介をした。内田さんは、深い楽譜の読み込みばかりでなく、使用する楽器も演奏曲に合わせて徹底的に調整を行う。今回の水戸公演でも、入念に準備されたピアノが持ち込まれる。（中）

水戸芸術館音楽紙 [ビューヴォ]

2011年11月発行 第161号

編集発行 / 水戸芸術館音楽部門
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8
tel:029-227-8118 fax:029-227-8130
ankmr@arttowermito.or.jp
<http://arttowermito.or.jp/>

編集 / 水戸芸術館音楽部門 (五十音順) : 石井亮子
大金絢子 篠田大基 関根哲也 高巢真樹 中村晃
デザイン / 大金絢子

印刷所 : 株式会社あけぼの印刷社

次号は・・・新アンサンブル第2回 &

年の瀬に祈りの歌声!!